

令和6年度 研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム(BRIDGE)の実施方針

令和6年9月19日
ガバニングボード決定

「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」(平成26年5月23日 総合科学技術・イノベーション会議決定(最終改正:令和4年12月23日))及び「研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム運用指針」(平成29年5月25日ガバニングボード決定(最終改定:令和4年12月23日))に基づき、令和6年度に実施するシステム改革型に資する事業、対象施策、対象施策への配分予算額を次のとおり定める。

なお、未配分額 0.38 億円については、重点課題またはシステム改革に資する事業への施策提案の審査・評価を踏まえた実施概要の具体化ができた段階での予算配分等の経費として留保する。

システム改革型**地域中核大学イノベーション創出環境強化事業**

配分額:12.0億円

令和5年度採択大学

(配分額順かつ五十音順)

大学名	令和6年10月 配分額(百万円)	参考)令和5年10月 配分額(百万円)	参考)令和6年4月 配分額(百万円)
大阪公立大学	40	200	60
香川大学	40	100	60
鹿児島大学	40	100	60
九州工業大学	40	150	60
千葉大学	40	100	60
長岡技術科学大学	40	100	60
長崎大学	40	200	60
兵庫県立大学	40	200	60
山形大学	40	150	60
立命館大学	40	100	60
(計10大学)	400	1,400	600

令和6年度採択大学

(五十音順)

大学名	令和6年10月 配分額(百万円)
秋田大学	100
岩手大学	100
岡山大学	100
沖縄科学技術大学院大学	100
帯広畜産大学	100
金沢大学	100
鳥取大学	100
新潟大学	100
(計8大学)	800

令和6年度 研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム(BRIDGE)の実施方針

令和6年9月19日
ガバナリングボード決定

「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」(平成26年5月23日 総合科学技術・イノベーション会議決定(最終改正:令和4年12月23日))及び「研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム運用指針」(平成29年5月25日ガバナリングボード決定(最終改定:令和4年12月23日))に基づき、令和6年度に実施する、令和5年度補正予算を繰り越したシステム改革型に資する事業、対象施策、対象施策への配分予算額等を次のとおり定める。

なお、未配分額 0.30 億円については、システム改革に資する事業への施策提案の審査・評価を踏まえた実施概要の具体化ができた段階での予算配分等の経費として留保する。

システム改革型

(1)スタートアップ・エコシステム形成推進事業

配分額:4.0億円

対象施策	概要	府省庁名	配分額(億円)	実施期間
グローバル・スタートアップ・キャンパス構想の推進	グローバル・スタートアップ・キャンパス構想(※)の実現に向け、海外大学等との継続的な連携や、国内外の研究・イノベーション創出に関する先進的な動向等を把握するために、世界最先端のディープテック研究モデル及びディープテック分野のラボに関する調査を実施することで、研究モデルの基本制度設計案の構築やスタートアップ・エコシステム構築のための戦略立案の具体化を図る。 (※)ディープテック分野に特化した研究機能と国際標準のインキュベーション機能を兼ね備えた施設である「グローバル・スタートアップ・キャンパス」を東京都心(渋谷・目黒)に創設することを通じ、世界に比肩するスタートアップ・エコシステムを日本に作り上げる構想。	内閣府	4.0	令和6年度

(2)標準活用加速化支援事業

配分額:5.8億円

	対象施策	概要	府省庁名	配分額(億円)
①	ヘルスケアとセルフケアのプロセス統合 DX を目指す国際標準化と戦略的国際標準化人材育成	人のライフタイムにおける診療記録と個人の健康記録を統合管理するための情報モデル、プロセス管理モデルの国際標準化を図る。	厚生労働省	1.0

②	Society5.0 を手術室で実現するスマート治療室システムに関する国際標準化事業	手術室で手術者が各種 IoT 機器のデータを一覧把握できるシステム整備に必要な国際標準化を図る。	厚生労働省	0.5
③	腸管免疫を利用するヒト・動物用医薬品等の開発に資するイネ及びカイコを用いた難消化性有用タンパク質の定量・評価方法の国際標準化	腸管免疫を利用するヒト・動物用医薬品等の実用化と海外市場獲得に向け、難消化性タンパク質の定量法・有効性評価法に関する国際標準化を図る。	農林水産省	0.6
④	GHG protocol の改訂に向けた LCA/CFP(ライフサイクルアセスメント/カーボンフットプリント)手法等に基づくGHG削減実績量の算定方法確立等の推進	削減実績量の算定方法確立と、デファクトスタンダードである GHG Protocol の改訂に向けて二元報告、削減実績量及び削減貢献量等に関する日本提案の反映を図る。	経済産業省	1.3
⑤	量子技術の標準化に関するフレームワーク構築	量子コンピュータに係るサプライチェーン構築のため、部素材やソフトウェアについて、研究開発・知財・標準化を連動して進められるよう、それに向けた試験・実証や人材育成を行う。	経済産業省	0.8
⑥	気候変動適応、災害安全保障時代における、防災・社会レジリエンス分野の産業創造のためのリスクファイナンス市場創造に関する国際標準化	防災・社会レジリエンス分野の産業化、国際ルール形成、海外市場の獲得と、これを推進するためのリスクファイナンスを活性化するため、国際標準化への反映も視野に、情報収集・戦略立案等の体制を構築する。	経済産業省	0.5
⑦	国際民間航空機関(ICAO)での国際航空運送の安全・保安等に関する国際標準化	ICAO における理事会議長ポストの獲得を通じて、航空に関する国際ルール策定の情報収集・提案体制を構築する。	国土交通省	0.8
⑧	レジリエンス分野におけるスマートシティに関する国際標準化	レジリエンス分野におけるスマートシティに関するデータ連携基盤につき、ASEAN 諸国等での市場性・事業性分析及び各国の個人情報保護等の観点から実現可能性を調査する。	国土交通省	0.4

(注)対象施策の配分額を億円単位で表示するため小数点第2位を四捨五入しており、配分額と一致しない場合がある。